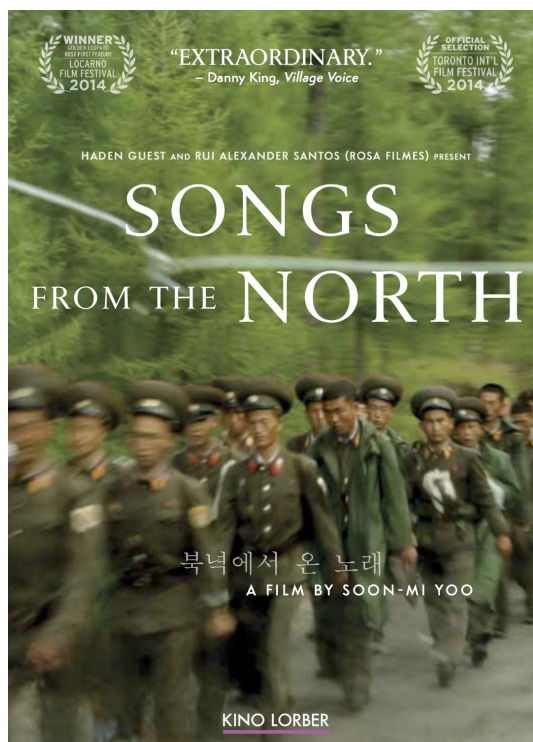


映画上映と講演会

Cinematic Imagination of War and Human Condition

2017年6月4日(日) 13:00~18:00
立教大学池袋キャンパス7号館7102教室



2017年度立教大学招聘研究員であるワルシャワ大学応用言語学教授 Malgorzata Tryuk (マルゴジャータ・トリーウック) 氏 (専門は翻訳通訳研究) と映画監督・マサチューセッツ芸術大学准教授 Soon-mi Yoo (スーンミ・ヨー) 氏 (専門は映画制作) をお迎えし、二部構成で映画上映および講演会を開催します。第一部はアウシュビッツ収容所内の通訳者を主人公にした映画『アウシュビッツの女囚』(1948年) の上映と「通訳者と倫理」に関する Tryuk 教授の講演、第二部は北朝鮮に関するドキュメンタリー映画で2014年ロカルノ国際映画祭フィルムメーカーズ・オブ・ザ・プレゼントを受賞した『Songs from the North』の上映と Yoo 監督との Q&A、というプログラムです。特定のトピックを超えて、人間の尊厳、生存、倫理について考察する機会になると考えます。奮ってご参加ください。(入場無料、事前申込不要)

主 催： 立教大学異文化コミュニケーション学部

問合せ先： 学部事務4課 異文化コミュニケーション学部担当 (03-3985-4824)

プログラム

第1部 13:00-15:30

映画『アウシュビッツの女囚』の上映（日本語字幕）

講演「アウシュビッツ収容所の通訳者と倫理」

Malgorzata Tryuk（ワルシャワ大学教授）（英語使用、通訳なし、日本語資料あり）

第2部 15:45-18:00（使用言語：英語、通訳なし）

映画『Songs from the North』の上映（英語字幕、日本語資料あり）

監督のトーク・Q&A

Soon-mi Yoo（映画監督・マサチューセッツ芸術大学准教授）（英語使用、通訳なし）

講演者プロフィール

Malgorzata Tryuk（マルゴジャータ・トリーウック）

ワルシャワ大学応用言語学研究所教授。専門は翻訳通訳学。特に、通訳者の倫理、ナチス強制収容所内および戦犯裁判の通訳者、ポーランドにおけるコミュニティ通訳、翻訳通訳教育法などを研究。ワルシャワ大学から応用言語学（翻訳研究）で博士号を取得。著書に *On Ethics and Interpreters* (2015)、論文に“Interpretation at the trials of Nazi criminals in Poland after World War II” (2016)、” “Conflicts. Tensions. Aggression. Some ethical issues on interpreting during the asylum hearings at the Office of Foreigner in Warsaw” (2014)などがある。

Soon-mi Yoo（スーンミ・ヨー）

映画監督、マサチューセッツ芸術大学映像学科准教授。延世大学でドイツ文学を学んだ後、マサチューセッツ芸術大学で芸術修士号（MFA）を取得。前衛的かつエッセイ的作品を数々制作し、ロッテルダム映画祭などでも上映されている。Songs from the Northは初の長編作品で、2014年ロカルノ国際映画祭でフィルムメーカーズ・オブ・プレゼント賞を受賞した。